

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	令和 5 年 9 月 5 日
住 所 (法人にあっては, 主たる事務所 の所在地) 京都府京都市山科区音羽八ノ坪 53-1	氏名 (法人にあっては, 名称及び代表名) 学校法人 洛和学園 理事長 矢野 一郎

京都市地球温暖化対策条例 ☒ 第 4 9 条第 1 項 ☐ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新築 ☐ 増築		
工事着工予定年月日		令和 5 年 1 0 月 1 日		
工事完了予定年月日		令和 6 年 1 2 月 3 1 日		
建築物 の概要	名 称	(仮称) 洛和会京都厚生学校新築工事		
	所 在 地	京都府京都市山科区小山北溝町2番1、2番2、2番3、4番1、4番2		
	構 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	階 数	地 上 3 階 地 下 階
	敷 地 面 積	3621.43平方メ ートル	高 さ	14.475 メートル
	建 築 面 積	2272.28平方メ ートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	5,772.99 平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
		学 校 等	5,772.99 平方メートル	
		飲 食 店 等		
		集 会 所 等		
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評 価の結果		B E E = 1.3 ランク B+		
金融機関の融資制度を利用するための 受領確認書の交付について (販売を目的とした住宅を計画する場合のみ 記入すること)		☐ 希望する ☐ 希望しない		
設計者の住所及び氏名の公表について		☐ 公表可 ☒ 公表不可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
☒ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外壁に吹付硬質ウレタンフォーム(A種1)t=35、屋根に押出法ポリスチレンフォーム保温板(A種)t=60を採用。
☒ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	複層ガラスを採用。
☒ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明設備設置。
☒ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備設置(太陽電池容量18kW)
☒ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。
☐ 地 域 産 木 材 の 利 用	
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水水栓、節水型便器の採用。
☐ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
☒ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	耐用年数の長い配管材の採用。
☒ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	防汚性のある外壁仕上げ(フッ素樹脂塗装)や、便器を採用し、メンテナンス性に配慮。
☒ 緑 化 の 実 施	外構緑化を積極的に行い、敷地内の環境に配慮
☐ 電 気 自 動 車 等 の 充 電 設 備 の 設 置	
☐ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
☐ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)